

# 畜産ネットワーク ちば

2016年5月20日

第36号

発行所 公益社団法人千葉県畜産協会

〒260-0021

千葉市中央区新宿1-2-3

K&T千葉ビル3階

発行人 森 英介



千葉県農林水産部  
部長 伊東 健司

## 《就任にあたっての挨拶》

千葉県農林水産部長を拝命いたしました伊東でございます。

会員の皆様並びに畜産関係者の皆様には、日頃から本県畜産の振興に御尽力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、本県は全国でも有数の畜産県であり、平成26年畜産産出額は、1,248億円と、生乳で全国第5位、豚で第3位、鶏卵で第2位を占めるなど、畜産全体で第5位の地位を維持しております。

畜産を取り巻く情勢は、配合飼料等の生産資材価格の高止まり、後継者不足やTPP大筋合意による先行き不安など多くの課題を抱えておりますが、千葉県では、千葉県農林水産業振興計画（計画年度26～29年度）に基づき、力強い千葉県の畜産を実現するため、平成28年度は主に次の対策に取り組んでまいります。

### 1 畜産の生産性向上と生産基盤の強化

畜産経営の競争力強化と収益性向上を図るため、地域畜産関係事業者が連携・結集した体制を「畜産クラスター」と位置付け、畜産経営体等に対して、ハード・ソフトの両面から支援します。

### 2 飼料自給力の強化

輸入飼料に依存した畜産経営から脱却するため、コントラクターの育成、飼料用米及び耕作放棄地の活用に対する支援を行い、輸入飼料から自給飼料主体の生産・利用体制を強化します。

### 3 畜産物の販売促進

県産食肉のブランド力向上のため、チバザポーク(豚肉)については、他県産豚肉との明確な差別化、チバザビーフ(牛肉)については、「東京食肉市場まつり2016」へ参加し、販売力の強化を目指します。

### 4 家畜衛生対策の強化

口蹄疫などの家畜伝染病の侵入防止対策と、万一発生した場合の迅速な防疫対策の一層の強化を図ります。

以上の推進につきましては、引き続き皆様の御理解と御協力をよろしくお願いいたします。

最後になりますが、千葉県畜産協会会員及び関係者の皆様の益々の御発展を祈念申し上げまして、就任の挨拶とさせていただきます。

## 目次

- |   |                                      |
|---|--------------------------------------|
| 【1】就任にあたっての挨拶                                 | 【6】平成28年度千葉県畜産関係機関一覧表                |
| 【2】平成28年度畜産協会事業推進体制                           | 【8】NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信           |
| 【3】平成27年度第2回通常理事会開催<br>肉用牛肥育経営安定特別対策（牛マルキン）事業 | 【9】ちば畜産レディースネットワーク会報                 |
| 【4】平成28年度家畜衛生対策事業の推進について                      | 【10】NPC通信                            |
| 【5】チバザビーフ協議会報                                 | 【12】新規職員紹介<br>牛トレーサビリティ制度 あなたの牛は大丈夫？ |

# 平成28年度畜産協会事業推進体制

以下の体制で事業推進を図ります。よろしくお願いいたします。（総務課 槌屋）

【 理 事 会 】		【 委 員 会 】
◆会長理事 森 英介（非常勤）	◆副会長理事 5名（非常勤）	◆家畜衛生評議委員会
◆理 事 10名（非常勤）	◆専務理事 鈴木 邦夫（常勤）	◆養豚振興委員会

【 事 務 局 】				
部署・職名等		氏 名	主な業務の内容	
【総務・企画部】	専務理事	衛生指導課長兼務	鈴木 邦夫	・本協会の総括
	事務局長	総務・企画部長、 総務課長兼務	福島 達哉	・業務の総括及び総務・企画部の総括 ・畜産クラスター事業
	総務課	調査役	槌屋 健太郎	・庶務、経理、管理 ・畜産コンサルタント等設置事業
		主事	長嶋 柚子	
		臨時職員	藤代 直子	
	企画課	課長	武田 善秀	・肉用牛肥育の経営安定に関する事 ・畜産物の消費拡大に関する事 ・生産者・流通加工・消費者との相互理解促進 ・広報等
		主任主事	小倉 崇司	
		臨時職員	瀧口 麻美	
		臨時職員	胡口 常代	
【事業部】	部長	経営・環境課長兼務	奥住 英雄	・事業部の総括
	経営・環境課	技師（企画課兼務）	飯沼 大輝	・畜産経営技術指導、支援等 ・担い手育成支援 ・貸付事業等の指導 ・飼料用米等の自給飼料生産の振興 ・家畜排せつ物法、生産者のコンプライアンス等
		嘱託職員	薫田 耕平	
	衛生指導課	臨時職員	高橋 早苗	・家畜の自衛防疫等の推進、指導等 ・死亡牛の処理円滑化事業 ・家畜防疫互助基金造成等 ・指定獣医師に関する事
		臨時職員	石山 操	
	生産課	課長	金杉 文一	・養豚の振興等 ・豚の登録、共進会等豚の改良に関する事 ・肉豚の価格補償に関する事 ・肉用牛の生産振興に関する事 ・肉用子牛の価格の安定、生産拡大等に関する事
		嘱託職員	加藤 脩三	
		臨時職員	高橋 真理	

【畜産団体事務局】（担当者）	
★千葉県養蜂協会（総務課 槌屋）	★ちば畜産レディースネットワーク（総務課 長嶋）
★千葉県畜産物消費拡大推進協議会（企画課 武田）	★千葉県肉用牛損害賠償請求生産者会（経営・環境課 飯沼）
★チバザビーフ協議会（企画課 小倉）	★千葉県馬事畜産振興協議会（経営・環境課 飯沼）
★NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター（経営・環境課 薫田）	★チバザポーク販売推進協議会（生産課 金杉）
★千葉県自家検定推進協議会（生産課 金杉）	
★ナイスポークチバ推進協議会（生産課 加藤）	

TEL : 043-242-5417 (代)	[総務課]	FAX : 043-238-1255	[共通]
043-242-6333	[企画課]	Eメール : info@chiba.lin.gr.jp	
043-241-1738	[経営・環境課、衛生指導課]	URL http://chiba.lin.gr.jp	
043-241-3851	[生産課]		

## 瞳は未来を見つめてる。



動物 未来 みつめる ひろがる



動物用医薬品 製造販売

**日本全薬工業株式会社**

福島県郡山市安積町笹川字平ノ上1-1

## 平成27年度第2回通常理事会開催

平成28年3月14日、プラザ菜の花において、森会長出席のもと平成27年第2回通常理事会が開催され、平成28年度事業計画案及び収支予算案をはじめ全6議案が原案どおり承認されました。

畜産を取り巻く情勢は、年々高齢化による離農、労働力や後継者問題等により農家戸数が減少してきており、生産基盤の弱体化が懸念されております。同時に、飼料や生産資材価格の高騰・高止まり、家畜衛生対策、TPP問題等、以前にも増して、厳しい状況にあります。TPPにつきましては、今年の2月4日に最終合意がなされ、今後、発効された場合、関税の引き下げによる価格の低迷等、影響はさまざま出てくると考えられます。

このような状況にあって、国では、攻めの農林水産業への転換に向け、畜産に対しては、経営安定のための措置、収益力の向上、生産基盤の強化等を重点に施策を展開してきております。特に、畜産クラスター事業については、「中央畜産会」が基金管理団体と決まり、本事業のうち、機械導入事業（リース事業）については、各県の畜産協会等が窓口団体として、事業を推進していくこととなりました。

当畜産協会としましては、生産者はじめ関係機関・団体と連携を取りながら、畜産クラスター事業をはじめ、畜産経営安定対策、県産畜産物の消費拡大運動、生産性の向上対策等の事業を推進し、これまで以上に畜産経営の安定に寄与してまいります。

また、緊急課題や当協会独自事業についても積極的に取り組み、様々な場面で関係各位の信頼確保に努めてまいります。（総務課 榎屋）

### 肉用牛肥育経営安定特別対策（牛マルキン）事業

#### 1 生産者積立金単価の変更について

平成28年度の肥育牛1頭当たりの生産者積立金の額について、下記のとおり定められましたのでお知らせいたします。（ただし、3月31日までに販売された個体は旧単価が適用されます。）

##### 生産者積立金単価

（単位：円／頭）

	28年度	(27年度比)	積立金総額	27年度	26年度	25年度
肉専用種	10,000	0	40,000	10,000	18,000	18,000
交雑種	25,000	0	100,000	25,000	30,000	30,000
乳用種	26,000	9,000	104,000	17,000	20,000	20,000

#### 2 肥育牛補填金単価について[平成28年1～3月販売分]

今年度も毎月払いが継続して実施されますので、販売報告の漏れがないよう願いたします。

##### 肥育牛補填金単価

（単位：円／頭）

区 分	1月			2月			3月		
	肉専用種	交雑種	乳用種	肉専用種	交雑種	乳用種	肉専用種	交雑種	乳用種
粗収益 (A)	1,236,438	742,484	455,245	1,232,069	709,300	450,283	1,243,953	727,368	445,053
生産コスト (B)	1,011,258	698,715	456,683	1,006,567	699,701	463,487	1,005,045	697,202	467,015
差額 (C) = (A) - (B)	225,180	43,769	1,438	225,502	9,599	13,204	238,908	30,166	21,962
補填金単価 (C) × 0.8	-	-	1,100	-	-	10,500	-	-	17,500

100円未満切り捨て

**牛マルキン事業では繁殖雌牛や種雄牛は対象となりませんのでご注意ください!!!**

繁殖雌牛や種雄牛を申し込んだ場合は、速やかに本会に報告の上、「異動報告書（または削除依頼書）」を提出してください。（報告を怠ると補填金交付契約を解除する場合がございます。）

問合せ先

公益社団法人千葉県畜産協会 総務・企画部 企画課（担当：小倉）  
TEL：043-242-6333 FAX：043-238-1255

# 平成 28 年度家畜衛生対策事業の推進について

畜産協会では畜産農家自らが行う防疫活動に対して、市町村家畜防疫会、家畜保健衛生所及び関係機関・団体・業者の皆さんのご協力のもとに、各種補助事業等への取組み並びに各種支援事業の推進にあっております。

平成 28 年度につきましても、県内畜産農家の飼養衛生管理並びに生産性の向上を目指し、各種衛生関連事業を推進していききたいと思いますので、皆様方のご協力よろしくお願いいたします。各畜種ごとの衛生対策の概要は以下のとおりです。（専務理事 鈴木）

## 【牛疾病対策】

牛疾病対策関係では、引き続き、牛ヨーネ病・牛白血病・牛マイコプラズマ性乳房炎病の清浄化に向けて、感染拡大防止のための検査並びにとう汰の推進を図ってまいります。

また、近年、発生頭数が増加するなど問題となっている牛ウイルス性下痢・粘膜病（BVD-MD）対策として、本病の検査並びに持続感染牛の淘汰、ワクチン接種等への助成事業を新規に実施していきます。

## 【豚病対策】

豚病対策関係では、県内オーエスキー病の清浄化が喫緊の課題となっております。

そこで、県並びに当協会では、本年度新規事業として本病の清浄化が遅れた地域に対し、ワクチンの全頭接種を条件に経費の一部を助成し、ワクチン接種、陽性豚のとう汰を推進し、早期の清浄化達成を目指していきます。

また、豚流行性下痢（PED）まん延防止対策として、昨年度から実施している当協会指定獣医師による衛生管理点検指導を今年度も実施し、PEDのまん延防止、再流行の防止を図っていきます。

## 【馬病関係】

馬病関係では、馬飼養衛生管理の充実強化を図るとともに、昨年度と同様に各種ワクチンの接種に対し助成し、馬の自衛防疫を推進していきます。

## 【その他、衛生関係】

生産現場における自衛防疫体制の強化を図るため、生産者参加による防疫演習（口蹄疫、高病原性鳥インフルエンザ等）を実施するとともに、これら防疫措置の基礎となる飼養衛生管理基準の徹底・啓発等の事業を推進していきます。

また、畜産物の安全性確保の観点から、個々の畜産農場における衛生管理を向上させるため、危害要因分析・必須管理点（HACCP）の考え方を採り入れた農場HACCPへの取組みを推進していきます。

## 《畜産農家への各種補助事業の 28 年度計画と 27 年度実績》

区 分		平成 28 年度事業計画		平成 27 年度事業実績		備 考
		計画単価	計画頭数	実績単価	実績頭数	
牛病 対策 関係	ヨーネ病対策 淘汰費	-	3 頭	-	0 頭	評価額の 2/3
	牛白血病対策	-	800 頭	-	872 頭	検査料は 1/2
	異常産 3 混りワクチン	128 円	10,000 頭	128 円	9,097 頭	定額
	異常産 7 混りワクチン	128 円	6,000 頭	128 円	4,465 頭	定額
	牛ウイルス性下痢・粘膜病対策 7 検査費	1,080 円	360 頭	-	-	検査料は 1/2
	1 PI 牛の淘汰費	-	40 頭	-	-	評価額の 2/3
	ウ ワクチン接種費	220 円	1,600 頭	-	-	定額
	死亡牛処理関係 7 輸送費 A	2,000 円	916 頭	2,000 円	798 頭	定額
	1 輸送費 B	1,500 円	368 頭	1,500 円	322 頭	定額
	ウ 輸送費 C	2,000 円	548 頭	2,000 円	476 頭	定額
豚病 対策 関係	E 化製処理費	7,500 円	896 頭	7,500 円	775 頭	定額
	オ-イ-病ワクチン	36 円	1,120,000 頭	38 円	1,334,180 頭	定額（H27 は国庫事業）
	オ-イ-病抗体検査	500 円	3,000 頭	-	4,930 頭	検査料は 1/2
馬病 関係	オ-イ-病淘汰助成	35,000 円	40 頭	16,000 円	333 頭	定額（種雄豚）
	（軽種馬） 馬インフルエンザ ワクチン	925 円	70 頭	925 円	40 頭	1/2・1～2 歳
	3 種混合ワクチン	1,415 円	70 頭	1,415 円	36 頭	1/2・1～2 歳
	日本脳炎ワクチン	335 円	30 頭	335 円	17 頭	1/2・2 歳
	馬鼻肺炎ワクチン	3,645 円	20 頭	3,645 円	6 頭	1/2・繁殖牝馬
馬病 関係	（乗用馬） 馬インフルエンザ ワクチン	1,860 円	700 頭	1,660 円	759 頭	1/2

\* 農家へ交付される補助金は、事業終了後、事業費の確定に基づき補助単価を算定の上、年 1 回随時支払われることになります。（表の 28 年度補助単価は補助上限額を示したもので補助交付単価ではありません。）



# チバザビーフ協議会報

チバザビーフ協議会は千葉県産の「うまい牛肉」のPR活動を行っています。



## 第5回チバザビーフ枝肉共励会及び前夜祭の開催結果について

平成28年2月22日～23日にかけて第5回チバザビーフ枝肉共励会及び前夜祭が開催されました。

なお、枝肉共励会『黒毛和種の部』において、最優秀賞に「農林水産大臣賞」が付与されており、旭市の高山 和視 様が受賞されています。

### （前夜祭）

日時：平成28年2月22日（月）

場所：第一ホテル東京シーフォート3階「ハーバーサーカス」

出席者数：117名（千葉県及び食肉関係者、生産者、報道機関等）

主催者あいさつ：山崎 巖さま（チバザビーフ協議会 会長）

共催者あいさつ：森 英介さま（公益社団法人千葉県畜産協会 会長）

来賓ご祝辞：阿井 伸也さま（千葉県議会自民党畜産振興議員連盟 副会長）

飯田 浩子さま（千葉県農林水産部 流通販売担当部長）

小松 達也さま（東京都中央卸売市場 食肉市場 場長）

狩谷 哲夫さま（東京食肉市場株式会社 専務取締役）

最高額買参人へのお礼・紹介：小川畜産興業株式会社さま

おもてなし牛肉：かずさ和牛【黒毛和種】（ステーキ）

せんば牛【交雑種】（ローストビーフ）

応援ステージ：澤田流津軽三味線（館山市）



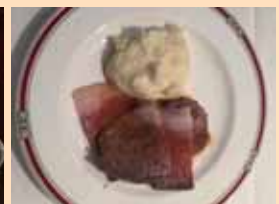
最高額買参人へのお礼・紹介



応援ステージ：津軽三味線



おもてなし牛肉：かずさ和牛



おもてなし牛肉：せんば牛

### （枝肉共励会）

日時：平成28年2月23日（火）

場所：東京都中央卸売市場食肉市場（審査講評・褒賞授与式は東京食肉市場センタービル8階会議室）

出品頭数：83頭（黒毛和種 42頭、交雑種 41頭）

入賞者

区分	最優秀賞	優秀賞1席	優秀賞2席	優良賞1席	優良賞2席
黒毛和種の部	高山 和視(旭市)	島田 昭(富津市)	(農)宮澤農産(旭市)	磯野 政樹(勝浦市)	清宮 彦久(四街道市)
交雑種の部	増田 俊一(匝瑳市)	(農)椎名牧場(旭市)	増田 俊一(匝瑳市)	(株)岩渕畜産(旭市)	塙 正一(銚子市)

## 県産牛肉消費拡大イベント活動報告

各種イベント等に参加・協力し、県産牛肉の知名度向上を図っています。

### 第4回「千産千消グルメの競宴」「千産千消グルメフェア」

日時：平成28年2月11日（木）（フェア：2月12日～3月13日）

場所：成田ビューホテル（フェア：料理提供の各ホテル）

主催：成田地区ホテル業協会

後援：千葉県、成田市、（一社）成田市観光協会、成田商工会議所、成田市農業協同組合

新鮮で高品質な地元食材を各ホテルのシェフたちが調理する『味の競宴』、成田東武ホテルエアポートの創作料理にチバザビーフ『卵の花牛』が使われました。フェア期間中は特別メニューとして各ホテルで提供されました。

わたしたち森久保薬品は  
人と動物の「これから」を真剣に考えています。

 **森久保薬品株式会社**  
<http://www.morikubo.co.jp>



# 平成28年度 千葉県 畜産関係機関一覧表

農林水産部	〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1		〒285-0072 佐倉市岩富町497 TEL:043-498-1431 FAX:043-498-1475		
部署・TEL	職名	氏名		次長	原 普
043-222-2800	部長	伊東 健司	病理生化学課	課長	小川 明宏
043-223-2801	流通販売担当部長	石渡 安博		副主幹	陰山 潔
043-223-2803	次長	長谷川 正克		上席専門員	関口 真樹
043-223-2804	次長	奥倉 努		主任技師	綿村 崇宏
				主任技師	島田 圭悟
畜産課	〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1 FAX:043-222-3098		細菌ウイルス課	課長	木下 智秀
部署・TEL	職名	氏名		上席専門員	大坪 岳彦
043-223-2931	課長	岡田 望		専門員	福井 聡子
043-223-2929	副課長	陣野 正美		主任技師	佐藤 隆裕
043-223-2930	副課長	川村 治朗		技師	岡本 みさき
企画経営室 043-223-2926 043-223-2927 043-223-2777 043-223-2921	主幹兼室長	井出 基雄	東部家畜 保健衛生所	部署	〒283-0064 東金市川場1105-3 TEL:0475-52-4101 FAX:0475-52-3335
	主幹	島田 純			
	副主幹	岩見 昌恵	衛生指導課	所長	青木 茂
	主査	森原 宏史		次長	片山 雅一
	主査	櫻井 紀夫		主幹	石原 勇人
	副主査	松本 友紀子		課長	坂元 依子
	副主査	倉地 充		主査	行方 康子
	副主査	阿部 敬		上席専門員	原 康弘
	主事	佐藤 悠太		専門員	平野 亨
	技師	山本 紗友里		技師	小形 次人
生産振興班 043-223-2939	班長	大澤 浩司	防疫課	技師	関谷 圭美
	副主幹	嶋村 和彦		技師	不破 友介
	副主査	野村 俊介		課長事務取扱	片山 雅一
	副主査	大河原 澄香		専門員	西川 潤
	技師	羽深 真里		専門員	中代 浩之
環境飼料班 043-223-2943 043-223-2944	班長	江森 美香	南部家畜 保健衛生所	技師	進藤 彰
	副主査	小林 夏奈子		技師	小高 宏貴
	副主査	田仲 景士郎	衛生指導課	部署	〒296-0033 鴨川市八色52 TEL:04-7092-2304 FAX:04-7092-1434
	技師	本多 正隆			
	技師	犬飼 愛			
家畜衛生対策室 043-223-2923 043-223-2938 BSE対策本部 043-223-3084	副技監兼室長	風間 達也			
	主幹	青木 ふき乃			
	副主幹	藤野 晴彦			
	副主査	塚原 涼子			
	副主査	藤川 英一郎			
担い手支援課	〒260-8667 千葉市中央区市場町1-1 FAX:043-201-2615		防疫課	所長	渡辺 和彦
部署・TEL	職名	氏名		次長	篠原 栄里子
043-223-2900	課長	石家 健生		課長	平島 淳
農業経営支援班 043-223-3087	班長	市原 重信		副主幹	柴田 祥子
	主査	高橋 京子		副主幹	齊藤 満
専門普及指導室 043-223-2912	副技監(兼)室長	福地 信彦	衛生指導課	上席専門員	小泉 慎一郎
	主席普及指導員	引地 美佐夫		上席専門員	田中 なほ子
	主任上席普及指導員	向後 弥生		技師	中村 みどり
	主任上席普及指導員	大塚 洋功		課長	松本 敦子
中央家畜 保健衛生所	部署・TEL	〒262-0011 千葉市花見川区三角町656 TEL:043-250-4141 FAX:043-236-0090	防疫課	上席専門員	千葉 耕司
				技師	土肥 世生
				技師	松原 芳絵
				技師	杉本 卓翔
北部家畜 保健衛生所	部署・TEL	〒287-0004 香取市岩ヶ崎台12-1 TEL:0478-54-1291 FAX:0478-54-5996	衛生指導課	課長	森田 秀雄
				次長	武石 佳夫
				課長	古屋 聡子
				副主幹	加藤 豊和
庶務課	部署・TEL	〒287-0004 香取市岩ヶ崎台12-1 TEL:0478-54-1291 FAX:0478-54-5996	防疫課	副主幹	橋本 能子
				主任技師	末政 奈津美
				技師	藤田 圭佑
				技師	石原 祐介
衛生指導課	部署・TEL	〒287-0004 香取市岩ヶ崎台12-1 TEL:0478-54-1291 FAX:0478-54-5996	防疫課	課長	小島 洋一
				副主幹	稲毛 幹雄
				主任技師	今関 智恵
				主任技師	三浦 良彰
防疫課	部署・TEL	〒287-0004 香取市岩ヶ崎台12-1 TEL:0478-54-1291 FAX:0478-54-5996	衛生指導課	技師	渡邊 世奈
				技師	鈴木 良平
				技師	鈴木 良平
				技師	鈴木 良平

畜産総合 研究センター	〒289-1113 八街市八街へ16-1 TEL:043-445-4511 FAX:043-445-5447		養豚養鶏 研究室	主任上席研究員	江森 格
	部署	職名		氏名	研究員
センター長		松木 英明		研究員	細野 真司
次長		上村 順一		研究員	松本 千明
次長		細谷 肇		研究員	本多 芙友子
				研究員	岡田 浩子
総務課	課長事務取扱	上村 順一	畜産総合研究センター 市原乳牛研究所 〒290-0531 市原市国本602		
	副主幹	佐原 徳之	部署	職名	氏名
	主査	今関 博子	TEL: 0436-96-1231  FAX: 0436-96-0956	所長	小林 正和
	主事	内藤 美咲		主幹	市原 裕二
	主事	平山 和章		主任上席研究員	渡邊 晴生
企画環境 研究室	室長	鈴木 一好		主任上席研究員	村田 宏之
	主席研究員	斉藤 健一		主任上席研究員	斉藤 公一
	主任上席研究員	井口 明浩	主任上席研究員	永福 和明	
	主任上席研究員	小野寺 道寛	研究員	関根 大介	
	上席研究員	丸山 朝子	研究員	村田 美里	
	上席研究員	青木 大輔	畜産総合研究センター 嶺岡乳牛研究所 〒299-2507 南房総市大井686		
	研究員	長谷川 輝明	部署	職名	氏名
	研究員	名取 美貴	TEL: 0470-46-3011  FAX: 0470-46-3012	所長	山下 秀幸
	研究員	行川 貴浩		主幹	杉本 清美
	乳牛肉牛 研究室	室長		川嶋 賢二	主査
主任上席研究員		山口 倫子		主任上席研究員	平尾 明
主任上席研究員		石崎 重信		研究員	小林 大誠
研究員		村中 洋美	研究員	清水 貴文	
研究員		福井 陽士	研究員	中橋 冬陽	
	研究員	山崎 藍子			
	研究員	諸岡 佳恵			
	研究員				
	研究員				
	研究員				
養豚養鶏 研究室	室長	高橋 圭二			

農業事務所名	課名	所在地	職名	氏名	TEL	FAX
千葉農業事務所	企画振興課	〒266-0014 千葉市緑区大金沢町473-2	副主幹	柴田 るり子	043-300-1985	043-293-3916
	技師		大畑 絵美			
	改良普及課		普及指導員	野中 太輔	043-300-0950	043-293-2710
東葛飾農業事務所	企画振興課	〒277-0861 柏市高田990-1	技師	中島 有美子	04-7143-4122	04-7144-8260
	技師		岩間 亮祐			
	改良普及課		〒277-0005 柏市柏255-1	普及指導員	湯原 千秋	04-7162-6151
印旛農業事務所	企画振興課	〒285-0026 佐倉市鎬木仲田町8-1	副主幹	杉本 裕	043-483-1129	043-485-9502
			副主査	関野 友利華		
	改良普及課		技師	高田 まどか	043-483-1128	043-485-9502
			GL・主任上席普及指導員	宮本 光浩		
香取農業事務所	企画振興課	〒287-0005 香取市佐原木1250-3	技師	溝井 つかさ	0478-52-9192	0478-54-5617
			技師	山桐 慶之		
	改良普及課	〒287-0005 香取市佐原木1250-2	GL・主任上席普及指導員	平野 和則	0478-52-9195	0478-55-1703
			上席普及指導員	鎌田 望		
海匝農業事務所	企画振興課	〒289-2504 旭市二1997-1	副主幹	篠塚 正則	0479-62-0156	0479-64-2502
			副主幹	畑野 克巳		
	改良普及課		上席普及指導員	丸山 武則	0479-62-0334	0479-62-4482
			普及指導員	有路 優子		
山武農業事務所	企画振興課	〒283-0006 東金市東新宿1-11	副主幹	安川 葉子	0475-54-1122	0475-55-8614
			副主査	沼尾 真人		
	改良普及課		技師	中山 妙子	0475-54-0226	0475-52-7914
			普及指導員	佐野 実乃里		
長生農業事務所	企画振興課	〒297-0026 茂原市茂原1102-1	技師	吉田 早希	0475-22-1751	0475-26-2234
	改良普及課		主任上席普及指導員	伊藤 郁子	0475-22-1771	0475-25-2061
			夷隅農業事務所	企画振興課	〒298-0293 夷隅郡大多喜町猿稻14	技師
安房農業事務所	企画振興課	〒294-0045 館山市北条402-1	普及技術員	小池 広明	0470-82-2213	0470-82-3975
			主査	渡辺 聡	0470-22-7131	0470-22-0097
	技師		加藤 久美子			
	改良普及課		主任上席普及指導員	金子 貴一	0470-22-8132	0470-22-0097
			普及指導員	中原 祐樹		
普及技術員		清水 ゆかり				
君津農業事務所	企画振興課	〒292-0833 木更津市貝淵3-13-34	技師	川瀬 晶	0438-25-0107	0438-23-6698
	改良普及課		普及指導員	新垣 裕子	0438-23-0299	0438-23-6698

# NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター通信

平成27年度の活動状況は、県内でのPEDの再発生やTPP交渉や円安による穀物等の高騰による飼料や資材費の上昇に加え少子高齢化の進展に伴い消費の停滞等畜産環境は厳しい状況にありました。国では飼養衛生管理基準の徹底等や農産品の輸出等積極的な農政を展開しています。

こうした状況の中、安全・安心・高品質な畜産物の安定供給のため、飼養衛生管理の向上強化に関する指導や6次産業化、エコフィードの資源循環システムの推進等畜産への理解増進等に努めました。主な活動は下記のとおりです。

## 1.. 畜産研修会

【第1回】平成27年5月27日（金） 千葉市生涯学習センター「メディアエッグホール」

出席者：会員、県、関係団体等 34名

演題1 「千葉県における畜産振興対策」講師：千葉県農林水産部畜産課企画経営室主幹 島田 純 氏

演題2 「TPPとわが国の農畜産物をめぐる諸情勢」～和の経済の視点から～ 講師：札幌大学客員教授 三野 耕治 氏

【第2回】平成28年2月25日（木） 千葉市生涯学習センター「メディアエッグホール」

出席者：会員、畜産農家、県、市町村、関係団体等 51名

演題1 「どうする千葉の酪農」 講師：会員 山下 厚 氏

演題2 「TPP発効を踏まえた畜産経営戦略」 講師：公益社団法人中央畜産会顧問、公益社団法人畜産技術協会長 菱沼 毅 氏

## 2.. 農場HACCP推進指導(公益社団法人千葉県畜産協会：依頼)

本指導は（公社）千葉県畜産協会からの依頼に基づき農場HACCP推進農場の指定又は認証を希望する農場へ指導員を派遣し、構築の指導・助言・提言を行うもので、県内への農場HACCP普及推進に努めました。

①構築支援：25農場（酪農2、養豚21、採卵鶏2） ②推進農場の指定：養豚12農場、採卵鶏1農場 計13農場（H27年度指定）

③指導員派遣：NPO会員農場HACCP指導員12名（延270回）

④農場HACCP講習会への講師派遣：NPO会員講師 延7名派遣 講習会数5回、受講者数：延129名

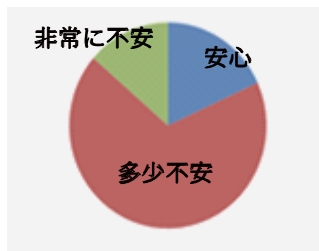
### ◇農場HACCPに関する消費者へのアンケート(10月24日・船橋競馬場・回答66名)

去る10月24日（土）船橋競馬場で、農場HACCPのパネル展示とアンケートを実施しました。

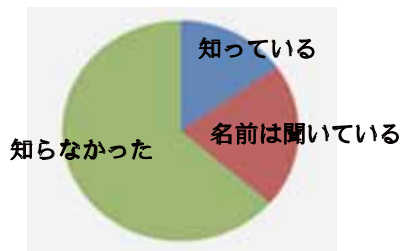
結果は食の安全に何らかの不安を感じている人が（非常に不安＋多少不安）82%、農場HACCP認証制度について以前から知っていましたかについては、64%の人が知らなかったと回答がありました。

また、農場HACCP認証農場で生産された畜産製品を買ってみたいと思いましたかについては、高くても買いたい30%、安ければ買いたい67%でした。農場のHACCP取組状況を消費者へわかり易く発信していくことが重要と考えました。

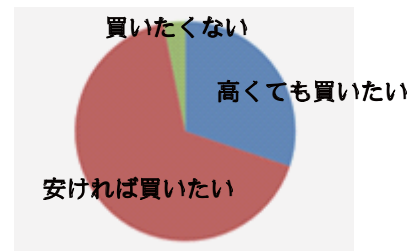
問1：食の安全に対して何らかの不安を感じていますか



問2：農場HACCP認証制度について以前から知っていましたか



問3：農場HACCP認証農場で生産された畜産製品を買ってみたいと思いましたか



### ◇食肉加工・卸売り企業への農場HACCP認証制度に対するアンケート調査結果(5件)

消費者意識に関して食品への不安、不信など、消費者意識の高まりを感じている（100%）

農場HACCPについて知っている（100%）、出荷家畜の生産段階の衛生面や安全面に対して何らかの注文を付けている（60%）、農場HACCP認証農場の出荷家畜に関心がある（80%）等の回答でした。

今後、本アンケート調査数を増やしていくとともに、農場HACCPに理解のある食肉加工、卸売り企業が求める取引数量等が確保できる量の農場HACCP認証農場を増やしていく必要性があると思いました。

## 3.. ちば農商工連携事業支援(公益社団法人千葉県産業振興センター：公募事業)

本事業は公益社団法人千葉県産業振興センターの公募事業で、6次産業化を実施又は目指している畜産農家へ専門家を派遣し、農商工の連携を図り自家製品の商品訴求力の強化、マーケティングの支援、商品のラベルデザイン等の販売アップを支援するものです。

取組農家：養豚2件、酪農2件

連携形態：①道の駅⇄養豚農家、②食肉加工業者⇄銘柄豚肉生産者、③直売所・レストラン⇄酪農家  
今後は2農家を対象に、農商工連携事業の販路開拓でエントリーしていく予定です。

#### 4.. 死亡牛等の受入及び保管等補助業務委託(千葉県：公募事業)

本事業は千葉県の公募事業で、中央家畜保健衛生所（佐倉）で実施している死亡牛等の受入及び保管等の業務を補助する内容で、8月中旬から取り組んでいます。（NPO会員4名・158日派遣）

##### 【平成28年度事業計画】

理事会が5月19日(木)に開催され、総会の開催日時や本年度の事業計画等が協議されます。

今年度はNPO法人としての活動を開始してから10年目です。昨今、家畜伝染病の発生やTPP問題や円、飼料高騰等先行きが不透明なところも多い状況にあります。会員の皆様の更なる積極的な参加やご意見をお待ちしております。

入会申込み・畜産に関する御相談等をお待ちしております。

【お問い合わせ】NPO法人いきいき畜産ちばサポートセンター事務局（（公社）千葉県畜産協会内）

TEL：043-241-1738 FAX：043-238-1255

現会員数：83会員（内、正会員個人70・団体11、賛助会員2団体）



ちば畜産レディースネットワーク会報 通算第19号



モ～モ～フ～フ～コケコッコ～



千葉県内の畜産に携わる女性のみなさんの会報です。



#### 活動記録

##### ◇ 平成27年度視察研修会

平成28年2月23日（火）に視察研修会を開催いたしました。本年度は県内3か所に立ち寄りしました。

##### （（1））ひふみ養蜂園(館山市)

ちば畜産レディースネットワーク会員の尾形さんの経営するひふみ養蜂園に伺いました。

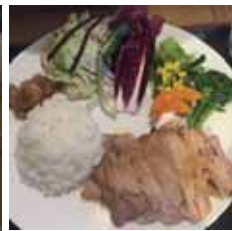
蜜蝋キャンドルづくり体験をし、カフェではちみつ料理をいただきました。



蜜蝋キャンドルづくり体験



出来上がりには個性が出ます



はちみつを使った料理

##### （（2））千葉県酪農のさと(南房総市)

会員の生産者の方々の中にも、今回初めて訪れる方も多かった酪農のさと。乳牛についてや、千葉県の酪農の歴史など、学ぶことがたくさんありました。

##### （（3））道の駅保田小学校(安房郡鋸南町)

最近新しくできた道の駅保田小学校。副駅長さんから、施設の説明や学校の跡地を道の駅にした理由など、お話を伺うことができました。また、須藤牧場のソフトクリームが販売されているということで、会員みなさんでございそうになりました。



副駅長のお話を伺う参加者



須藤牧場のソフトクリーム

#### 活動予定

##### ◇ 平成28年度総会・情報交換会の開催

平成28年度の総会等を次のとおり予定しております。皆様のご参会をお待ちしております。（事務局 長嶋）



日 時	平成28年5月25日（水）	
場 所	エストーレホテル東金（〒283-0801 千葉県東金市八坂台1-8）	
内 容	1) 総会 11:00～ 2) 紫陽花の宴 12:00～ (会費：3,000円/1人) 3) 情報交換会 13:40～	



## 1 平成27年度千葉県養豚大会盛大に開催 (28.2.17)

その時々養豚問題に関する関心事をテーマに開催する千葉県養豚大会が、佐倉市所在の印旛合同庁舎大ホールにおいて154名の参加により開催された。

今回の講演テーマとしては、TPP大筋合意を踏まえ、その大きな対策としてクラスター事業に大きな予算が組まれた。国の政策の中で、減反政策に代わり水田の有効活用として飼料用米の生産拡大を大きな施策として掲げていることから、いち早く6次産業化・飼料米の取り組みに大きな実績を上げている(株)平田牧場 生産本部長 加藤 潔氏を招き講演をお願いした。



6次化については、一次産業(農畜産の生産)二次産業(農畜産の食品製造・加工)三次産業(流通・販売・サービス・グリーンツーリズム)の掛け算にて6になる。どれかが0であれば6次化は進まない。6次化(農村の活力・付加価値の発信・雇用創出・所得倍増)たし算による6次化も良いと思うと話され、特にネーミングの重要性を強調された。

飼料米については、①食料自給力を飛躍的に上昇させる②子供達に、しっかりと維持管理された国土を渡せる。③世界に誇れる日本古来の水田文化を守れる。④収穫できる米を家畜に与えることで、遺伝子操作のない安心、安全、高品質な畜肉が生産できる。⑤大凶作時にも米が不足しない。⑥質の高い家畜堆肥を土地に戻すことで土地を肥沃にする。⑦疲弊している農村に活力を与える。⑧環境破壊、人口爆発による食料不足に備えた食料安全保障を図ること、その意義を話された。『飼料用米(国産飼料)を使う事の意義や価値を各々が理解することが大事である。』『日本の食の「安全・安心」や食料自給力の向上、また次世代の子供達のためにも互いに連携し、日本の養豚・畜産を盛り上げましょう。』と締めくくった。

## 2 自民党養豚農業振興議員連盟総会に参加しTPP対策を要請 (28.2.24)

TPP大筋合意を踏まえ、国の対策としてクラスター事業、豚マルキンなど対策が出され、生産額が低下するが、生産量、自給率は現状水準を維持するとの国の考えに合わせて影響試算が公表された。



この試算に大きな疑問を感じる(一社)日本養豚協会(JPPA)の意を汲んでいただき、東京四ツ谷主婦会館ブラザエフにおいて開催された総会にJPPA役員、生産者、関係者51名が(千葉県:16名)会場に駆けつけた。

今回も連盟衆参20名を超える先生(代理秘書含む)が参加された。衆議院議員宮腰光寛(富山県)連盟会長の挨拶、

JPPA 志澤 勝 会長から日頃のご支援に対する御礼とTPP対策として①**チェックオフの確立** ②**輸入豚肉加工品の原産地表示について法制化を求める**挨拶。農水省大野高志畜産部長から出席の連盟議員に対し農政新時代(農林水産分野における品目別TPP対策)に関する資料をもとに説明。出席された衆参国会議員から、チェックオフ、原産地表示に対する応援の意見が出され、国会議員と官僚の意見のやり取りを見守った。

終わりに、JPPA青年部を代表して阿部副会長(山形県)から原産地表示・チェックオフの法制化を強く要請した。

会議終了後JPPA主催による、「国産豚肉を食べる会」が開催され、国産、輸入豚肉の食べ比べで、国産豚肉の美味しさをアピール、合わせてチェックオフ、原産地表示の必要性、法制化を参加された国会議員の先生方をお願いした。



## 3 平成27年度第2回関東養豚協議会開催 (28.3.3~4)

関東7県(神奈川・千葉・茨城・埼玉・栃木・群馬・山梨・長野)で創る関東養豚協議会は、養豚生産現場における各県の問題を共通の問題点として捉え、その改善に向けた情報交換の場として開催されてきた。

平成27年度は千葉県を幹事県とし、2回目の開催を木更津ビューホテルにおいて開催し、来賓を含め33名が参加、各県から活動報告と臭気対策・HACCPへの取り組み・飼料米を利用した豚肉生産等報告。前回からの懸案事項、AD清浄化について積極的な協議を期待したが前進は見られなかった。



幹事県として議長を務めた塩澤ナイスポーク会長から①**ADの清浄化への取り組み強化をアップする**。②**チェックオフの推進のためにJPPA会員を拡大する**。③**チェックオフの法制化に向けた推進のため、地域国会議員への要請**。④**各県地域における養豚農家戸数の把握**。の4項目を会議における決議として会を閉じた。次回幹事県は茨城県に決定した。

#### 4 日本の豚肉を世界へ発信 (28.3.22)



豚肉輸出分科会（事務局：日本養豚協会）は、国の畜産物輸出特別支援事業（補助事業）の一環で様々な事業を進めている。現在、日本の豚肉の輸出量は農水省発表の下表のとおり年々増加傾向にあり、政府が掲げる攻めの農業の一環で、今後さらなる輸出拡大を目指し、2020年までに豚肉の輸出額を現在の2倍である12億円（1,000t相当）に拡大する目標を設定した。

◇日本の豚肉の輸出量

《単位：輸出量 t・輸出額：億円》

	2011年	2012年	2013年	2014年	2015年	…	2020年(目標)
輸出量	166	168	247	429	467	…	1,000
輸出額	1.9	2.0	2.6	5.1	6.4	…	12.0

豚肉輸出分科会は、親会にあたる日本畜産物輸出促進協議会（事務局：中央畜産会）の他畜種各分科会と連携しながら日本の豚肉を世界に送り出すための輸出用日本産豚肉に付与する豚肉統一ロゴマークを制定、香港、シンガポールの市場調査・レストランフェアへの参加等活発に推進を図っている。

#### 5 平成28年度県定期人事異動に伴う関連部署への挨拶 (28.4.12)



平成28年度県定期人事異動に伴い、協議会三役、顧問、事務局7名で関連する部署（農林水産部・健康福祉部）へ挨拶のため県庁を訪問した。

新たに就任された、伊東 健司 農林水産部長への挨拶では、塩澤会長から協議会の活動目的である、県産（国産）豚肉の消費拡大、政策要請、後継者育成の3つを説明した。

TPP大筋合意を踏まえ、将来的に安い輸入豚肉に対抗するために生産コストの削減に加え、消費拡大の重要性を強く感じていることと合わせてNPC通信、サポーター会員制度及び今月開催のマリンフィールドでの消費拡大について資料を提示した。最近の活動として中央組織と連携しチェックオフ制度の法制化と輸入豚肉を使用した加工品の原産地表示の法制化について要望している旨説明し養豚生産者に対する指導、支援をお願いした。



#### 6 QVCマリンフィールド in ポーク2016開催 (28.4.30)

初夏を感じさせる好天の球場、マリニーズ主催試合における市町村・地域特産PR「千葉、心つなげようテント」企画に参加した。イベントの開催は昨年からゴールデンウィーク期間への復活である。

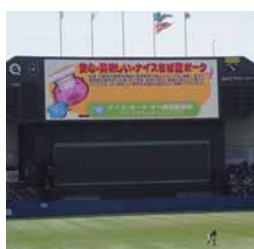
イベント参加者は、生産者、郡市町養豚生産集団事務局、県関係機関（畜産課、畜産総合研究センター、農業事務所、家畜保健衛生所）県関係団体（県畜産協会、全農千葉県本部）など総勢92名が参加し協力を頂いた。

来場者のお目当ての焼肉はスタート前から長い列ができ、午前10時、全員によるブース前での記念撮影後、約2時間30分のイベントをスタートさせた。

今回のイベントは、① 県産豚肉（焼肉）販売による県産（国産）豚肉PR、② アンケート・クイズ（一般用・ジュニア用）パンフレット、ティッシュ配布により養豚農業のPR、③ 熊本地震支援募金の3つの企画を実施した。

100kgの焼肉（一皿大盛り100円）販売に加え、アンケート、クイズに答えて抽選でロース1kg80本、豚グッズをプレゼント企画は今年も大人気。豚・豚肉・養豚について声をかけての情報交感を積極的に行い県産（国産）豚肉の消費拡大に努めた。

「熊本地震被災支援募金」はイベント来場者の皆さんから7万9,764円の募金が集まり、読売光と愛の事業団を通じて被災地へ送金しました。



事務局

公益社団法人千葉県畜産協会 事業部（担当：加藤）  
TEL:043-241-3851 FAX:043-238-1255

## - 新規職員紹介 -

### 【事務局長 福島 達哉】

このたび、千葉県畜産協会にまいりました福島と申します。

私は、これまで千葉県職員として、行政に22年間、試験研究に13年間勤務してまいりました。

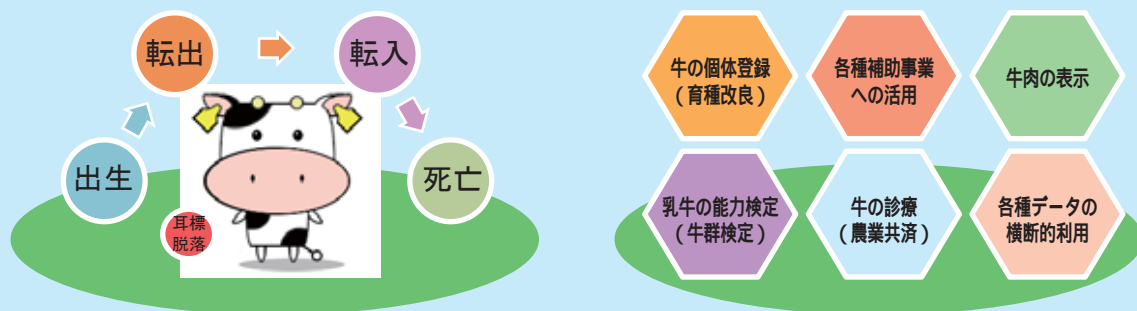
畜産は、これまで、常に国際情勢に左右され、特に自由貿易交渉・市場開放によって、そのたびごとに大きな転換点をむかえてきました。今、TPP交渉合意により、これまでにない重大な時期をむかえています。

このようなとき、千葉県畜産協会です仕事をさせていただきますことをたいへん光栄に思うとともに、責任の重さを強く感じております。畜産経営者の皆様のお役にたてるよう努力してまいりますので、何卒よろしくお願いいたします。

### 酪農課、肉用牛農家の皆様へ

## 牛トレサビリティ制度 あなたの牛は大丈夫？

牛の管理者には、牛トレサ法に基づく耳標の装着及び各種届出が義務付けられています。  
届出をせずに、又は虚偽の届出をした場合には牛トレサ法に基づく罰則の対象となります。  
さらに、各種補助金の対象から除外されたり、返還を求められる場合もあります。  
牛トレサビリティ制度は、色々な場面で活用されています。  
牛の出生や異動の届出は、速やか、かつ正確に行いましょう。



「食の安全・安心」のための第1歩は、  
「法令遵守」であることを改めて認識してください。

「地方競馬の馬主になりたい!」という方は地方競馬全国協会までご連絡ください。

地方競馬の馬主登録制度についてご案内しております。

○問い合わせ先：審査部登録課 TEL:03-3583-2142 URL <http://www.keiba.go.jp/>

地方競馬の収益金は畜産の振興に役立っています。

部 署		T E L	F A X
総務・企画部	総 務 課	043-242-5417 ( 代 )	043-238-1255
	企 画 課	043-242-6333	
事 業 部	経営・環境課	043-241-1738	
	衛 生 指 導 課	043-241-1738	
	生 産 課	043-241-3851	
Eメール：info@chiba.lin.gr.jp		URL http://chiba.lin.gr.jp	